



# SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES REPORT

住友ゴムレポート

第127期 報告書

2018年1月1日 ▶ 2018年12月31日



2019年3月26日開催の当社定時株主総会後の取締役会におきまして、池田育嗣は代表取締役 取締役会長に、山本悟は代表取締役社長に就任いたしました。社業発展のためなお一層精励いたす所存でございますので、なにとぞご高承のうえ倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 「新たな挑戦」を原動力として、収益力の向上を目指す。

### 売上収益は増加するものの減損で減益に

2018年の世界経済は、全体としては緩やかに回復しましたが、中国での景気減速感など、先行きについては不透明感が増してきました。

国内経済では、雇用環境の改善や個人消費の持ち直しなどにより、景気は緩やかに回復しました。

当社グループを取り巻く情勢は、天然ゴム価格相場は安定的でしたが、販売環境は厳しい状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、低燃費タイヤなど高付加価値商品の更なる拡販の推進、欧米での販売力強化等の取り組みに加えて、新市場・新分野に積極的に挑戦してまいりました。

この結果、当社グループの連結業績は、売上収益は前期比で1.9%増加したものの、事業利益は前期比で9.4%の減益、当期利益についても、南アフリカの製造・販売子会社に係るのれんの減損損失の計上もあり、前期比で22.8%の減益となりました。

(詳細は中面「連結財務ハイライト」をご覧ください。)

事業セグメント別では、タイヤ事業については、国内で「ダンロップ」の低燃費タイヤや「ファルケン」の世代フラッグシップタイヤの拡販に努めましたが、中国の景気減速等の影響により、売上収益、事業利益は増収・減益となりました。

スポーツ事業では、「スリクソン」や「クリーブランド」の新商品発売、「ダンロップ」ブランドのスポーツ用品事業やライセンス事業が増収に寄与し、売上収益・事業利益ともに前期を上回りました。

産産品他事業では、売上収益は増収となったものの、医療用精密ゴム部品のスロベニア新工場建設にともなう投資等で、事業利益は減益となりました。

### 海外での売上や利益を高め、真のグローバルプレイヤーへ

当社は「高収益・高成長の真のグローバルプレイヤーになる」ことを掲げ、海外での売上や利益

を高めていくことを目標としておりますが、特に次の2つの取り組みが重要と考えております。

#### ・欧米事業の拡大

欧米事業においては、当社のグローバルブランドである「ファルケン」のタイヤ販売拡大を積極的に推進しています。市場ニーズに合った商品の投入はもちろん、グローバルプロモーションとして欧州サッカーチーム、レッドブルエアレース、ニュルブルクリンク24時間レースのスポンサー等、さまざまな施策を行っております。

その結果として、欧米市場でのプレゼンスやブランド価値は確実に向上しており、昨年の販売本数は前年と比較して両市場とも2桁増を達成しています。

#### ・「ダンロップ」ブランドの活用

2017年4月に海外の「ダンロップ」商標権を取得し、スポーツ事業・産産品事業においては全世界での展開が可能となりました。特にスポーツ分野で認知度の高いテニス事業を通じて「ダンロップ」ブランドの活用拡大、価値向上への取り組みを行っております。グループ内でのシナジー効果を最大限引き出してまいります。

(取り組みの詳細は中面「Pick Up」をご覧ください。)

これまでアフリカ市場におけるトラック・バス用タイヤについては輸入販売を行っていましたが、2013年12月に買収した当工場生産設備を新設し、2018年7月より稼働を開始いたしました。

2020年には生産能力を日産750本とする計画で、現地生産により安定供給と為替変動リスクの回避を実現し、乗用車・ライトトラック用タイヤと合わせて、同市場におけるタイヤ販売事業の一層の強化を図ってまいります。



トラック・バス用タイヤ工場開所式

当工場では2013年10月より乗用車・ライトトラック用タイヤを生産しており、トラック・バス用タイヤについては、日産500本の生産設備を新設し、2019年3月から稼働する予定でしたが、追加投資を行い、同年10月より生産能力を日産1,000本とすることを決定いたしました。

安定的に成長を続けるブラジル市場においても、タイヤ販売事業の一層の強化を図ってまいります。



ダンロップ SP320

2016年より天然ゴムが持続可能な資源であるための活動に参画し、さまざまな取り組みを行ってまいりました。

今回、「持続可能な開発のための世界経済人会議」のタイヤ産業プロジェクトが中心となって立ち上げた世界標準の天然ゴムプラットフォーム「Global Platform for Sustainable Natural Rubber (GPSNR)」の設立に参画するとともに、住友ゴムグループ「持続可能な天然ゴム方針」を策定。ステークホルダーの皆様と積極的に連携した取り組みを推進し、より一層活動を強化してまいります。



「天然ゴム採取場」

**南アフリカ工場でもトラック・バス用タイヤの生産を開始**

7月

8月

**カーリングチーム ロコ・ソラーレと「ダンロップ」がチームスポンサー契約**

2010年に結成されたロコ・ソラーレは、2016年の世界選手権で銀メダル、2018年のピョンチャンオリンピックで銅メダルを獲得するなど、世界で活躍しているカーリングチームです。

冬の安心・安全をお届けするため、高性能なスタッドレスタイヤ開発に挑戦し続けるダンロップブランドを展開する当社は、同じく氷上のプロフェッショナルとして世界に挑戦するロコ・ソラーレの活動を応援してまいります。



©2018 LocoSolare  
藤澤五月選手 吉田夕梨花選手 本橋麻里代表理事 鈴木夕湖選手 吉田知那美選手

**ブラジル工場でもトラック・バス用タイヤの生産能力増強を決定**

9月

10月

**「ゼクシオ」シリーズがメーカー出荷累計2,000万本を達成**

初代「ゼクシオ」発売以来18年にわたり、「ゼクシオ」シリーズを展開してまいりました。現在では日本を含む世界44か国と地域で展開。海外での売り上げは5割近くに上り、シリーズ累計のメーカー出荷本数は2018年7月末に2,021万本を達成いたしました。

これからも初代「ゼクシオ」から続く「飛び」「打ちやすさ」「爽快感」といったユーザーベネフィットを継承し、ゴルフの楽しさを伝えられるクラブをお届けしてまいります。



**世界標準の天然ゴムプラットフォームに参画し、「持続可能な天然ゴム方針」を策定**

11月

**「ハイブリッドターフXP-mono」が2018年度グッドデザイン賞を受賞**

スポーツ用人工芝「ハイブリッドターフXP-mono」は、人工芝市場で重視される耐久性に加え、ヤーン(芝葉)に業界でも画期的なベージュ色を採用することで、色調を限りなく天然芝に近づけた3色配合のロングパイル人工芝です。

このたび、天然の質感をほぼ再現したということで評価され、グッドデザイン賞を受賞いたしました。



当商品を採用する「ヴィレッジ全天候型練習場」

## Pick Up

### ダンロップブランド価値向上の新たな取り組みをスタート

**「全豪オープン」とオフィシャルスポンサー契約、日本企業初ブランドスラム公式ボールサプライヤーに**

2019年より、日本企業として初めて「全豪オープン」の公式ボールサプライヤーとなりました。「ダンロップ」のロゴが大会会場で露出されるだけでなく、大会期間中のブース出店、テニスボール関連のオフィシャルグッズの製造・販売なども通じ、広くダンロップブランドが人々の目に留まり、ブランド価値向上につながると考えています。

**テニスラケット「ダンロップ「CX」シリーズ POWERED BY SRIXON」発売**

これまで「主に国内はスリクソン・海外はダンロップ」としてきたブランドを2019年モデルの当商品から「ダンロップ」に統一し、グローバルに展開いたします。

そのほか、米国IMGアカデミーとの新たな取り組み等のテニス事業を通じたブランディング活動を通じ、当社の主力であるタイヤ事業と合わせたダンロップブランドの価値向上に努めてまいります。

長期ビジョン VISION 2020

### Go for NEXT VISION 2020

長期ビジョン  
世界一の価値をさまざまな事業領域で提供し続ける企業集団を目指す

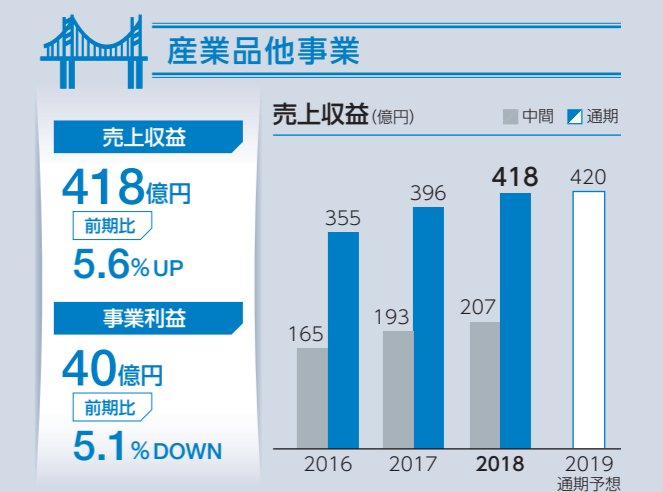
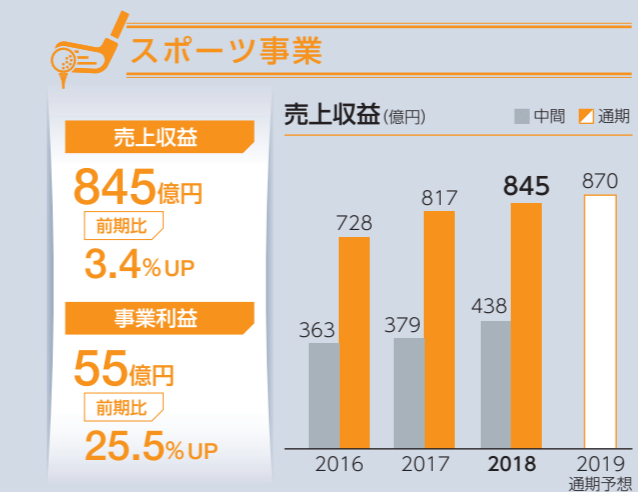
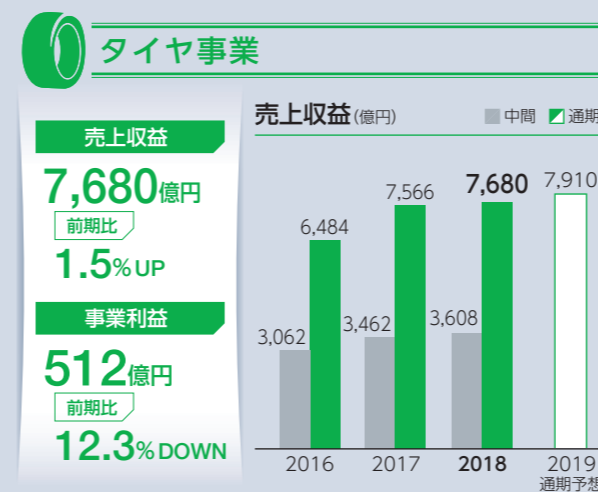
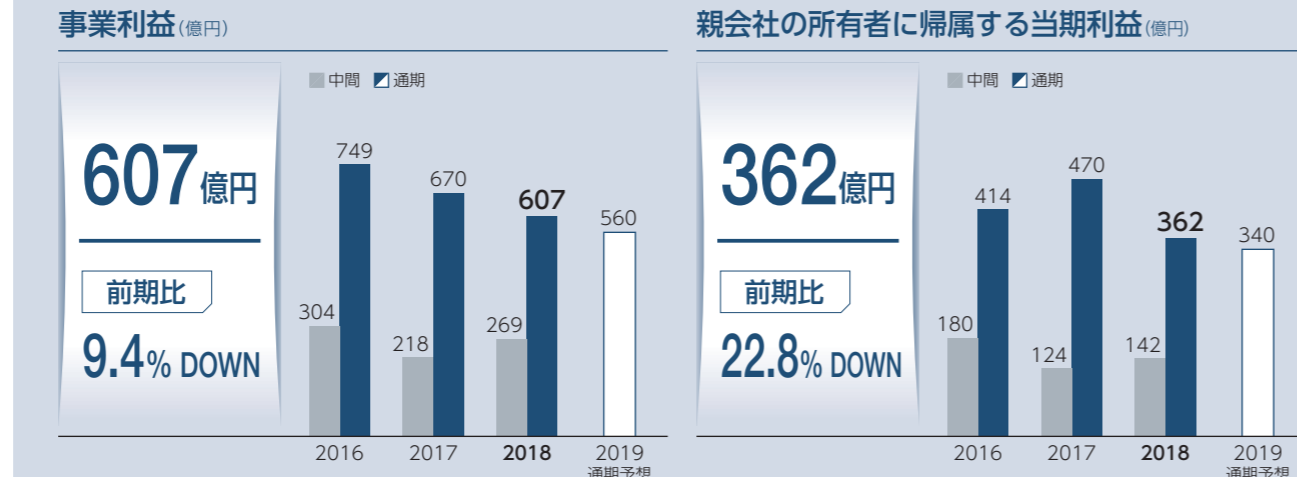
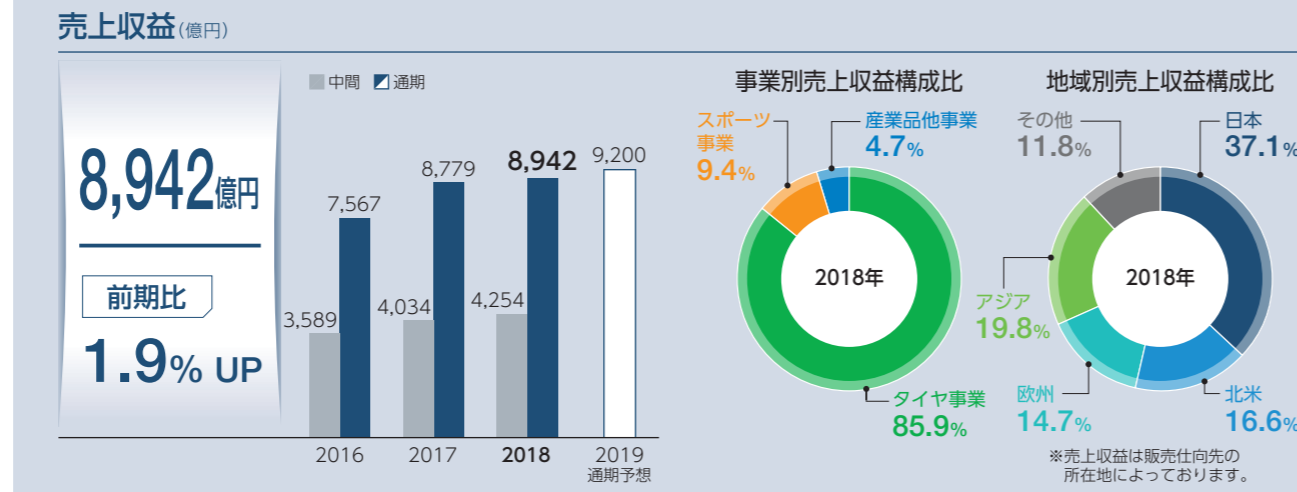
長期ビジョン行動イメージ  
**Go for NEXT**  
高収益・高成長の真のグローバルプレイヤーになるステークホルダーにとっての価値向上と、全社員の幸せを追求する

目標達成のための成長エンジン・新たな挑戦  
新市場への挑戦 鋭くなき技術革新 新分野の創出  
世界一の現場力・開発力・技術力 業界No.1の収益力

住友ゴムWAY  
「信用と確実」「縦と横のつながり」「目標を高く」「人を育てる」

連結財務ハイライト CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

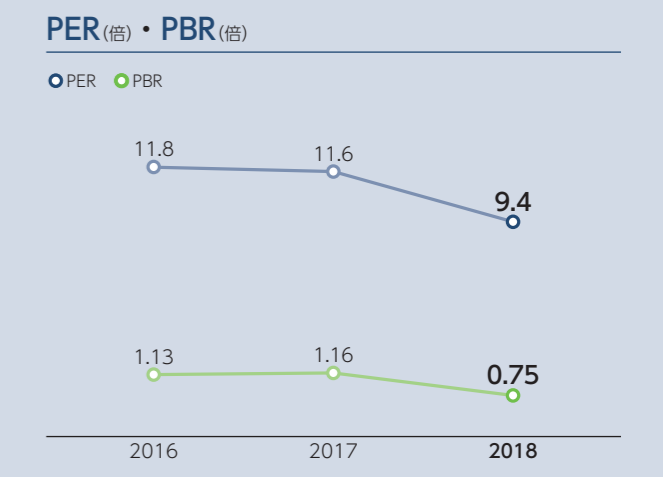
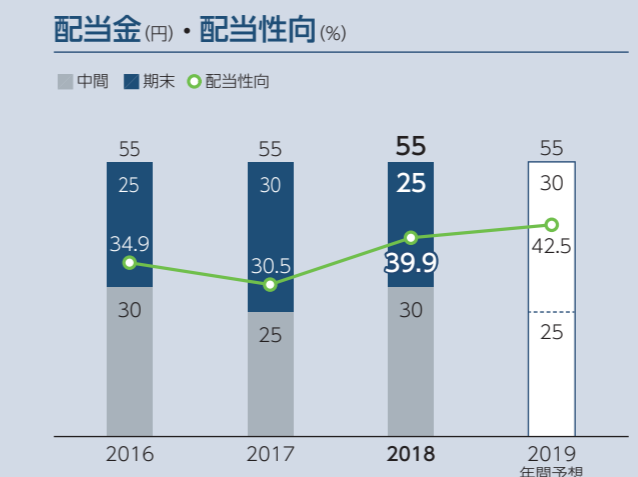
(注) 当社グループは、財務情報の国際的な比較可能性向上と、経営管理の品質向上のため、2016年12月期より国際会計基準(IFRS)を適用しました。また、記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。



#### 業績予想 (億円)

	2017年 通期実績	2018年 通期実績	2019年 通期予想
売上収益	8,779	8,942	9,200
事業利益 <sup>*1</sup> (率)	670 (7.6%)	607 (6.8%)	560 (6.1%)
営業利益 (率)	674 (7.7%)	572 (6.4%)	540 (5.9%)
当期利益 <sup>*2</sup>	470	362	340

<sup>\*1</sup> 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しており、日本基準の営業利益に概ね相当します。当社の業績を評価する上で有用な情報であると考え、追加的に開示しております。  
<sup>\*2</sup> 親会社の所有者に帰属する当期利益は、日本基準の親会社株主に帰属する当期純利益にあたります。



## 会社・株式情報

## CORPORATE PROFILE / STOCK INFORMATION

## 会社の概要

(2018年12月31日現在)

創 業	1909年10月4日
資 本 金	42,658,013,576円
従 業 員	7,175名
本 社	神戸市中央区脇浜町三丁目6番9号 電話078-265-3000(代表)
東京本社	東京都江東区豊洲三丁目3番3号 豊洲センタービル 電話03-5546-0111(代表)
工 場	
〈タイヤ事業〉	白河・名古屋・泉大津・宮崎・ インドネシア・中国(常熟・湖南)・ タイ・ブラジル・南アフリカ・ トルコ・米国
〈スポーツ事業〉	市島・宮崎・インドネシア・ フィリピン
〈産業品事業〉	加古川・泉大津・マレーシア・ 中国(中山)・ベトナム・スイス・ スロベニア

## 取締役、監査役および執行役員

(2019年3月26日現在)

代表取締役 取締役会長	池 田 育 嗣	執行役員	藤 本 紀 文
代表取締役 社長	山 本 悟 (社長)	執行役員	小 野 正 晴
代表取締役	西 実 (副社長)	執行役員	吉 岡 哲 彦
代表取締役	木 滑 和 生 (副社長)	執行役員	小 松 俊 彦
取 締 役	伊 井 康 高 (専務執行役員)	執行役員	増 田 智 彦
取 締 役	石 田 宏 樹 (常務執行役員)	執行役員	村 岡 清 繁
取 締 役	黒 田 豊 (常務執行役員)	執行役員	西 野 正 貢
取 締 役	原 田 直 典 (常務執行役員)	執行役員	増 田 栄 一
取 締 役	谷 川 光 照 (常務執行役員)	執行役員	齋 藤 健 司
社外取締役	高 坂 敬 三	執行役員	村 上 博 俊
社外取締役	村 上 健 治	執行役員	リチャード・スモールウッド
社外取締役	谷 信	執行役員	川 松 英 明
常勤監査役	田 中 宏 明	執行役員	大 西 章 夫
常勤監査役	河 野 隆 志	執行役員	家 根 谷 尚 文
社外監査役	村 田 守 弘	執行役員	田 中 敦 彦
社外監査役	赤 松 哲 治	執行役員	山 下 文 一
社外監査役	アスリ・チョルパン	執行役員	渡 辺 泰 生
常務執行役員	山 田 直 樹	執行役員	リアズ・ハフェジ
常務執行役員	青 井 孝 典		
常務執行役員	西 口 豪 一		

※取締役の( )内の役職は、執行役員としての役職を表しております。

## 株式の概要

(2018年12月31日現在)

発行可能株式総数	発行済株式の総数	単元株式数	株主数
800,000,000株	263,043,057株	100株	36,188名

## 大株主

(2018年12月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友電気工業(株)	75,879	28.85
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	10,761	4.09
JP MORGAN CHASE BANK 385632	9,166	3.49
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	7,551	2.87
全国共済農業協同組合連合会	7,331	2.79
(株)三井住友銀行	5,215	1.98
住友商事(株)	4,805	1.83
SMBC日興証券(株)	4,389	1.67
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	3,522	1.34
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	3,204	1.22

※持株比率は自己株式(34,890株)を発行済株式の総数から控除して算出しております。

## 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月開催

基 準 日 定時株主総会 毎年12月31日  
 期末配当 毎年12月31日  
 中間配当 毎年 6月30日  
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公 告 の 方 法 電子公告。ただし、不測の事態により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告掲載URL <http://www.srigroup.co.jp/>

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部

郵便物送付先および電話照会先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行事務センター ☎0120-782-031(フリーダイヤル)

## Q&amp;A COMMUNICATION PLAZA

当社では中間期に株主様へのWEBアンケートを実施しており、ここではその一部をご紹介します。

## Q 「非タイヤ事業の内容を知りたい。」

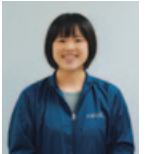
A タイヤ以外の事業としてスポーツ事業、産業品他事業をご紹介します。

## スポーツ事業

「スポーツといっしょに生きる」喜びをお客様に提供すべく、グローバルでのゴルフ・テニス用品の製造・販売に加えて、国内ではスクールやフィットネスクラブの運営、およびゴルフトーナメントの事業も行っています。

昨年1月の経営統合で、住友ゴムグループの持つ研究・技術部門の力をフルに活用して、従来にないわくわくする商品・サービスの開発に取り組み、皆様のご期待に応えていきたいと思っております。

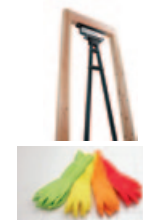
この記事は私が書きました。  
 スポーツ事業本部 企画業務部  
 元川 静香



## 産業品他事業

産業品他事業はゴム技術をベースとして、家庭用ゴム手袋に代表される身近な生活・ヘルスケア用品、台風や地震からビルや住宅と人々の命を守る制振用ダンパー、野球やテニスなどのスポーツ競技場に張り巡らされた人工芝、他さまざまな産業インフラ分野で製品を開発、販売しております。近年では、スイスの医療用ゴム部品会社を傘下に加え、これまでのアジア中心のビジネスから欧米へビジネス展開を加速させ、更なるグローバル化を目指します。

この記事は私が書きました。  
 ハイブリッド事業本部 企画部  
 塊原 昇



事故のない  
 毎日をつくりたい。

より安全が  
 長持ちするタイヤ 選べるダンロップ!



©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK

大切な人を守るため、タイヤの空気圧チェックをよびかけています。  
 空気入りタイヤを実用化したダンロップの責任だから。

☎0120-39-2788 <https://tyre.dunlop.co.jp/>  